

「平成19年度地方再生モデルプロジェクト」について

平成19年度地方再生モデルプロジェクトについて

地方再生に向けた総合的な支援策の一環として、本年度既定の予算により、「平成19年度地方再生モデルプロジェクト」を先行的に実施。

(来年度からはプロジェクトの立ち上がり段階の包括的、総合的な支援策として「地方の元気再生事業」を実施する予定。)

雇用情勢の厳しい8道県(有効求人倍率が0.7未満の北海道、青森県、秋田県、高知県、長崎県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県)を対象として、民間の発意を公とのパートナーシップにより後押しするなど、地域の経済活性化に寄与するプロジェクトを発掘・構築し、関係支援施策を緊急かつ総合的に実施することにより、地域経済の下支えを図るもの。

8道県からの提案に基づいて、

- ・地方都市において、中心市街地活性化を加速しにぎわいを創出するもの(事例1)、
- ・農山漁村において、地域の持続可能な発展を支える産業の振興を図るもの(事例2)、
- ・基礎的条件の厳しい集落において、生活交通の確保及び地域資源の活用により地域活性化を図るもの(事例3)、
- ・地方都市の雇用に着目し、人材育成や雇用のマッチングなどにより雇用を促進するもの(事例4)、

等 17プロジェクトを決定。

平成19年度地方再生モデルプロジェクト一覧

道県名	プロジェクト名	主な実施地域	
北海道	アーケード再生による冬のにぎわい創出プロジェクト	<small>おびひろ</small> 帯広市	事例1
	地域産業経済活性化による岩見沢市再生プロジェクト	<small>いわみざわ</small> 岩見沢市	
青森県	青森市中心市街地 まちづかい・まちそだてプロジェクト	青森市	
	下北地域広域観光振興プロジェクト	<small>おおま</small> むつ市・ <small>ひがしどおり</small> 大間町・ <small>かざまうら</small> 東通村・ <small>かざまうら</small> 風間浦村・ <small>さらい</small> 佐井村	
秋田県	よこて地産品発信プロジェクト	<small>よこて</small> 横手市	
	秋田県央生活交通プロジェクト	<small>だいせん</small> 秋田市・ <small>ごじょうめ</small> 大仙市・五城目町	
高知県	海・山の地域資源を活用した地方再生モデルプロジェクト	<small>とさしみず</small> 土佐清水市・ <small>すくも</small> 宿毛市・ <small>しまんと</small> 四万十市	
	中山間地域におけるモビリティ改善モデルプロジェクト	いの町	
長崎県	諫早湾干拓地における農業と環境、観光の融合プロジェクト	<small>いさはや</small> 諫早市	
	離島等の資源を活かした観光活性化プロジェクト	<small>ひらど</small> 平戸市・ <small>おぢか</small> 小値賀町	
	島原半島の地域資源を活かした観光振興プロジェクト	<small>しまばら</small> 島原市・ <small>うんぜん</small> 雲仙市・ <small>みなみしまばら</small> 南島原市	
宮崎県	西臼杵観光振興プロジェクト	<small>たかちほ</small> 高千穂町・ <small>ひのかげ</small> 日之影町・ <small>ごかせ</small> 五ヶ瀬町	事例3
	「青島再勢」による観光活性化プロジェクト	<small>にちなん</small> 宮崎市・日南市	
鹿児島県	よかまち・きやんせ定住プロジェクト	<small>さつませんだい</small> 薩摩川内市	
	「アクネうまいネ自然だネ」地方再生プロジェクト	<small>あくね</small> 阿久根市	事例2
	公共交通の活性化・地元大学との連携促進による中心市街地の再生プロジェクト	鹿児島市	
沖縄県	沖縄型雇用促進プロジェクト	沖縄市・うるま市	事例4

(事例1) アーケード再生による冬のにぎわい創出プロジェクト(北海道帯広市)

プロジェクトのポイント

広小路商店街のアーケードにおいて、厳しい冬の間、「冬のオープンカフェ」や歩行者天国など、市民主体の商店街のにぎわいを創出、さらに、平成10年以来閉鎖されていた大型店の空きビルの再開につなげ、中心市街地活性化の加速化を図る

これまでの取組: 中心市街地活性化基本計画(H19年度～H23年度)

- ・アーケード再生事業等による回遊促進
- ・北の屋台による集客拠点施設整備
- ・大型店の空きビルの再開のための大規模小売店舗立地法の特例措置適用

新たに実施する取組

「冬のオープンカフェ」、「畜大アンテナショップ」によるにぎわい創出

- ・アーケード街において、暖房・風よけ・若い人による活動等、様々な主体が暖かさを演出し、「冬のオープンカフェ」や歩行者天国を実験的に実施
- ・帯広畜産大学と連携した空き店舗におけるアンテナショップ等の設置

アンテナショップ: 大学でつくった乳製品や大学グッズの販売

観光客を中心市街地に呼び込むモデルツアー

- ・スキー客を中心とする観光客を商店街に呼び込むモデルツアーの実施(『北の屋台』との連携)
- ・「ウォーク&ライド」(バスの一泊フリーパスの導入等による回遊性の向上)
- ・中心市街地商業活性化アドバイザーの派遣による支援

効果

- ・大型店の空きビルの再開による雇用創出効果の早期発現
- ・歩行者通行量の増加



(事例2) 「アクネうまいネ自然だネ」地方再生プロジェクト(鹿児島県阿久根市)

プロジェクトのポイント

阿久根市における地域資源を活かした「食のまちづくり」の取組に加え、阿久根駅(肥薩おれんじ鉄道)を中核とした公共交通活性化施策(駅及び周辺の施設整備、イベントや旅行商品の企画・開発等)を検討・推進しつつ、宿泊施設、地域特産品の販売施設及び観光交流施設を整備することにより、都市との地域間交流を促進し、食の関連産業分野における雇用創出を図る

これまでの取組

- ・構造改革特区計画・地域再生計画による取組の着実な推進
 - 「アクネうまいネ自然だネ」特区
農地貸し付け方式による株式会社等の農業経営への参入容認
 - 「アクネうまいネ自然だネ」雇用創出プラン(地域再生計画 H18年度認定)
地域提案型雇用創造促進事業(パッケージ事業)
「食のまちづくり」に向けて、食品関連産業に資する新たな技術やノウハウ、人材育成を実施
- ・体験型観光の推進(H15年度~)
 - 体験型観光(グリーンツーリズムやブルーツーリズム)による都市と地域間交流の促進

新たに実施する取組

公共交通の活性化に向けた検討

阿久根駅(肥薩おれんじ鉄道)を中核とした公共交通活性化に向けた行動計画(魅力ある阿久根駅及び周辺施設の再整備、地場産業と連携したイベントや旅行商品の企画・開発等)を策定

地域間交流促進施設の整備

阿久根駅構内に使用済みの寝台車両等を活用した宿泊機能を持つライダース、地域特産品販売施設及び観光交流施設を整備

効果

- ・食の関連産業分野における雇用創出
- ・食料品製造年間出荷額の増加

グリーンツーリズムやブルーツーリズムによる体験型観光の推進

農地貸付方式による株式会社等の農業経営への参入(特区)



肥薩おれんじ鉄道と阿久根市の農林水産業、観光、温泉等の地場産業とが連携したイベントや旅行商品の企画・開発等

使用済みの寝台車両等を活用し、宿泊施設、地域特産品販売施設及び観光交流施設を整備

地域資源を活用した食の関連産業の育成による雇用の創出(地域再生)



(事例4) 沖縄型雇用促進プロジェクト(重点実施:沖縄県沖縄市・うるま市)

プロジェクトのポイント

沖縄県最優先課題の一つである雇用問題に対する県独自の取組『みんなでグッジョブ運動』を加速するため、失業率の特に高い沖縄中部地域を重点地域として、地域の雇用状況に応じたきめ細かな雇用対策を集中的に実施

これまでの取組

- ・コールセンターオペレーター養成講座、PC実務研修
- ・ホームヘルパー養成
- ・観光ガイド、音楽ビジネス人材養成講座 等

新たに実施する取組

雇用マッチング促進

情報・観光関連や看護師等、雇用ミスマッチの大きい職種を中心にフォーラムの開催や企業合同説明会、研修プログラム等を実施し、マッチングを促進

就業意識改善促進

地元企業と学校の連携により、就業意識の改善を促進する『ジョブシャドウイング(学生が働く人に「影」のように付き添いながら仕事の様子を観察する体験型職業教育)』をモデル実施

また、県民の雇用意識高揚に繋がる広報も併せて実施

核世代再チャレンジ雇用支援

ライフサイクルを通じて他の世代より失業率の高い働き盛り世代(35~44歳)を対象に適職フェア、雇用奨励金制度等を構築

現場に根差した民間の「知恵」を迅速に吸い上げ、政策に反映

連携

地域活性化伝道師
みんなでグッジョブ運動推進アドバイザー

みんなでグッジョブ運動 (県民運動)

みんなでグッジョブ運動:雇用対策を短期・集中的に強力に実施することで、平成19年度~平成22年度の4年間に、雇用状況を全国並み(約4万人の雇用及び完全失業率4%)に改善することを目指した取組

療養センター・人材育成



フォーラムの開催 (イメージ)



ジョブシャドウイング (試行実施の様子)



音楽ホール・人材養成



合同面接会 (イメージ)



効果

- ・各雇用対策事業による雇用増

